

| 番号 | 項目                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                         | ○印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                          |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------------|
|    | <b>I 理念に基づく運営</b>                                                                |                                                                         |                     |                                                           |
|    | 1. 理念の共有                                                                         |                                                                         |                     |                                                           |
| 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている           |                                                                         | ○                   | 1度作ったままでなく、地域や入居者のニーズ、事業所の状況の変化によって現状に合った理念に作り変えて行く必要がある。 |
| 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                              | 理念を掘り下げて職員全体で話し合い、具体的なケアについて意見の統一をミーティングなどで図っている。                       |                     |                                                           |
| 3  | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる      | 家族には来訪時、地域住民に対しては設立前から事業所の理念、役割を説明会などで伝えると共に、その後はイベントなどの参加時に伝えるようにしている。 |                     |                                                           |
|    | 2. 地域との支えあい                                                                      |                                                                         |                     |                                                           |
| 4  | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      |                                                                         | ○                   |                                                           |
| 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | 地域の文化祭やお祭りなどには入居者と共に参加し、事業所には小学生や高校生がボランティアとして交流がある。                    |                     |                                                           |
| 6  | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる |                                                                         | ○                   | 人材育成として実習生の受け入れなどは行ってはいるが、事業所での成果を地域の推進に還元していけるように努力したい。  |

| 番号 | 項目                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                       | ○印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
|    | 3. 理念を実践するための制度の理解と活用                                                                           |                                                                                       |                     |                                  |
| 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                         | 自己評価を全職員で行い、外部評価の結果は、ミーティングで報告し、改善に向けて検討や実践につなげる為の努力をしている。                            |                     |                                  |
| 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | 前回の運営推進会議で取り上げられた検討事項などについて、その経過を報告し、一つひとつ積み上げて行くようにしている。                             |                     |                                  |
| 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          |                                                                                       | ○                   | 市職員との交流を図りたい。                    |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している |                                                                                       | ○                   | 職員全員が理解・対応できるよう、勉強会などの機会を増やしたい。  |
| 11 | ○虐待防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている           | 講習会などに参加し、ミーティングなどを通じて、高齢者虐待防止法に関する話をしている。                                            |                     |                                  |
|    | 4. 理念を実践するための体制                                                                                 |                                                                                       |                     |                                  |
| 12 | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                            | 契約時は重要事項説明を詳しく行い同意を取り、事業所で出来る事出来ない事を明確に説明している。(事業所のケアに関する考え方や取り組み、退居を含めた事業所の対応可能な範囲。) |                     |                                  |

| 番号 | 項目                                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                              | ○印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                          |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------------|
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 入居者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、入居者本位の運営を心掛けている。                                     |                     |                                                           |
| 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              |                                                                              | ○                   | 来訪時には、現在の報告を行ってはいるが、来訪間隔がまちまちなので、今後は電話などの定期的な報告を検討していきたい。 |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | ご家族に来訪時、何でも言って貰えるような雰囲気づくりに留意している。出された意見、要望等はミーティングで話し合い、反映させている。            |                     |                                                           |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                            | ミーティングで職員の意見、要望を聞くと共に、職員専用の意見箱設置。                                            |                     |                                                           |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | その都度必要に応じて、柔軟に職員の配置を考えている。                                                   |                     |                                                           |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 基本的には、各ユニットの職員を固定化し、顔なじみの職員によるケアを心掛けている。職員が止める時や入る場合も、きちんと入居者にきちんと説明紹介をしている。 |                     |                                                           |
|    | 5. 人材の育成と支援                                                                                          |                                                                              |                     |                                                           |
| 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が受講出来るようにしている。                                        |                     |                                                           |

| 番号 | 項目                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                   | ○印<br>(取り組んで<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている      | 市内に連絡協議会があり、その中で研修会や意見交換会などを持つ事により、サービスの質の向上を目指している。                                              |                        |                                  |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                         | 日常やミーティング時に、職員のストレスや悩みを把握するように努めている。又休憩時間を確保したり、職員同士の人間関係を把握したりするようにしている。                         |                        |                                  |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                             | 職員の資格取得に向けた支援をおこない、取得後は本人の意向を重視しながら職場内で生かせる環境作りに努めている。                                            |                        |                                  |
|    | <b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b><br>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応                                                |                                                                                                   |                        |                                  |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 事前面談で生活状況を把握するように努め、ご本人の求めている事や不安を理解しようと工夫している。                                                   |                        |                                  |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | ご家族が求めているものを理解し、事業所としてはどのような対応が出来るか話し合いをしている。                                                     |                        |                                  |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | ご家族が求めているものを理解し、事業所としてはどのような対応が出来るか話し合いをしている。                                                     |                        |                                  |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族が事業所を見学して貰う事から始め、スタッフが自宅などに出向いたりしている。やむを得ず、すぐに入居になった場合には、ご家族などに頻繁にきて貰うなどして、安心感を持って貰うようにしている。 |                        |                                  |

| 番号 | 項目                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                      | ○印<br>(取り組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
|    | 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援                                                        |                                                                      |                         |                                  |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 本人の思いや苦しみ、不安、喜びなどを知る事に努め、暮らしの中で分かち合い、共に支えあえる関係作りに留意している。             |                         |                                  |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている           | 家族との情報交換を密のおこなうことや、支援を求めている家族にいつも耳を傾けている。                            |                         |                                  |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している               | 家族、本人の思いや状況を見極めながら、外出や外泊で家族と一緒に過ごす事を勧めたり双方のより良い関係の継続に努めている。          |                         |                                  |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | 知人、友人などに合いに来てもらったり、電話や手紙での連絡を取り持つなど、つながりを継続出来るように支援している。             |                         |                                  |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                | 毎日のお茶や食事の時間は職員も一緒に多くの会話を持つようにしたり、みんなで楽しく過ごす時間や気の合うもの同士で過ごせるよう支援している。 |                         |                                  |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている   | 他の事業所へ移られた方にも時間を作り会いに行ったりしている。                                       |                         |                                  |

| 番号 | 項目                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                              | ○印<br>(取り組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
|    | <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b><br>1. 一人ひとりの把握                                                    |                                                                                              |                         |                                  |
| 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                        | 日々のかかわりの中で声をかけ、言葉や表情などからその真意を推し測ったりしている。                                                     |                         |                                  |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 入居前に、ご本人やご家族、関係者などから聞き取るようにしている。入居後も折に触れ把握に努めている。                                            |                         |                                  |
| 35 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | 入居者1人ひとりの生活リズムを理解すると共に、行動や発する言葉から感じ取り、本人の全体像を把握するよう努めている。                                    |                         |                                  |
|    | 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し                                                                      |                                                                                              |                         |                                  |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | ご本人やご家族にはかかわりの中で要望や意見を聞き、課題となることを職員全員で話し、介護計画の作成に生かしている。                                     |                         |                                  |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の遂行状況、効果などを評価すると共に、職員が記録する入居者の状態変化や状況、家族・本人の要望に応じて見直しを行っている。                             |                         |                                  |
| 38 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | 個別にファイルを用意し、食事・水分量、排泄など身体的状況及び日々の暮らしに様子や本人の言葉などを記録し、いつでも全ての職員が確認出来るようにしており、勤務開始前の確認は義務付けている。 |                         |                                  |

| 番号 | 項目                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                | ○印<br>(取り組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
|    | 3. 多機能性を活かした柔軟な支援                                                                |                                                                |                         |                                  |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている     | 本人家族の状況に応じて、通院など必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるように努力している。              |                         |                                  |
|    | 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働                                                      |                                                                |                         |                                  |
| 40 | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している               | 周辺施設や警察などへの協力を呼びかけている。                                         |                         |                                  |
| 41 | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている    |                                                                |                         |                                  |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している   | 周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。                                    |                         |                                  |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している   | 本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。又、受診や通院は職員が行っている。                      |                         |                                  |
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 認知症の肩の医療に熱心で家族や職員の話を良く聞き、日常の入居者の姿を通して、適切な指示や助言をしてくれる医師を確保している。 |                         |                                  |
| 45 | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている                | 併設の外来を通して、常に入居者の健康管理や状態変化に応じた支援をおこなえるようにしている。                  |                         |                                  |

| 番号 | 項目                                                                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                | ○印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                       | 入院時には、頻繁に職員が見舞うようにし、家族と共に情報交換をしながら、回復状況など速やかな退院支援に結び付けている。                                     |                     |                                  |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                    | 重度化に伴う意思確認を行い、事業所が対応できる最大のケアについて説明を行っている。                                                      |                     |                                  |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 本人や家族の意向を踏まえ、医師・職員が連携を取り、安心して納得した最後が迎えられるように、随時意思を確認しながら取り組んでいる。                               |                     |                                  |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                       | これまでの暮らしの継続性が損なわれないように、これまでの生活、支援の内容、注意が必要な点については情報提供し、細かい連携を心掛けている。                           |                     |                                  |
|    | <b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b><br>1. その人らしい暮らしの支援<br>(1) 一人ひとりの尊重                                                             |                                                                                                |                     |                                  |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                                             | ミーティングの折に、職員の意識向上を図るとともに、日々のかかわり方や、入居者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。                              |                     |                                  |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                                         | 職員側で決めた事を押し付けるような事はせず、複数の選択肢を提案し、一人ひとりの入居者が自分で決める場面を作っている。                                     |                     |                                  |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                               | 基本的な一日の流れはあるものの、時間を区切った過ごし方はしていない。1人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、出来るだけ個別性のある支援を行っている。 |                     |                                  |



| 番号 | 項目                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                               | ○印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
|    | (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援                                                   |                                                                               |                     |                                  |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている           | 着替えは、職員が見守りや支援が必要なときに手伝うようにしている。理美容は希望があれば、理美容院の支援を行っている。                     |                     |                                  |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている    | 介助する一方にならずに、本人と職員全員が同じ物をいっしょに食べたり、職員と入居者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるような雰囲気作りを大切にしている。  |                     |                                  |
| 55 | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している               | 職員は1人ひとりの嗜好物を理解しており、本人の様子や時間を見ながら、それを楽しめるように支援している。                           |                     |                                  |
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | 排泄チェック表を使用し、尿意のない入居者にも時間を見計らって誘導する事により、トイレで排泄できるよう支援している。                     |                     |                                  |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入浴したい日、希望する時間に入浴して頂いている。                                                      |                     |                                  |
| 58 | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えられるよう努めている。又、1人ひとりの体調や表情、希望などを考慮して、ゆっくりと休息が取れるように支援している。 |                     |                                  |
|    | (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援                                                   |                                                                               |                     |                                  |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 得意分野で1人ひとりの力を発揮して貰えるよう、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。                        |                     |                                  |

| 番号 | 項目                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                       | ○印<br>(取り組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している         | 家族の協力を得て小額のお金をもたれている人もいる。家族よりお金を預かり、事業所が管理している人でも、訪問販売(パン屋・ヤクルト)等は、自分で払っていただけるようにお金を手渡すなどの工夫をしている。    |                         |                                  |
| 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                            | 天気、本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じて貰い、心身の活性につながるよう日常的に散歩、ドライブ等の出かけている。                                           |                         |                                  |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | 本人がいきたいと思う普段は行けないところについては、家族の協力を得て、職員の勤務を調整しながら支援につなげている。                                             |                         |                                  |
| 63 | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 家族や友人などに電話しやすい雰囲気作りや職員の声かけを行っている。                                                                     |                         |                                  |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | ご家族が気軽に気安い雰囲気作りを心掛けている。仕事帰りやご家族の都合の良い時間帯に、いつでも尋ねてきていただけるような配慮をしている。                                   |                         |                                  |
|    | (4) 安心と安全を支える支援                                                                         |                                                                                                       |                         |                                  |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員が身体拘束によって入居者が受ける身体的・精神的弊害について理解し、拘束のないケアを目指している。                                                    |                         |                                  |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 入居者が外出しそうな様子を察知したら、止めるのではなく、さりげなく声をかけたり一緒について行くなど、安全面に配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。                          |                         |                                  |
| 67 | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 職員は入居者と同じ空間で記録などの事務作業を行いながら、さりげなく全員の状況を把握するように努めている。夜間は2時間ごとに入居者の様子を確認すると共に、起きられた時すぐに対応できるような工夫をしている。 |                         |                                  |

| 番号 | 項 目                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                | ○印<br>(取り組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)           |
|----|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|--------------------------------------------|
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている          | 入居者の状況変化によっては注意を促して行くなどケースに応じた対応をしている。                                                         |                         |                                            |
| 69 | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる       | 日々のヒヤリハットを記録し、職員の共有認識を図っている。万が一の事故が発生した場合には、速やかに事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明と報告を行っている。 |                         |                                            |
| 70 | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 |                                                                                                | ○                       | 全ての職員が年数回の応急手当の勉強会を実施し、習得出来るように消防署の協力を得たい。 |
| 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | マニュアルを作成し、年2回入居者と共に避難訓練を行っている。地域の協力体制については、地元消防団などに協力を呼びかけている。                                 |                         |                                            |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 起こり得るリスクについて個別的に把握しており、家族などに対して対応策を説明している。                                                     |                         |                                            |
|    | (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援                                                   |                                                                                                |                         |                                            |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 普段の状況を職員は把握しており、少しでも変化が見られたときには、バイタルチェックを行い、変化時の記録をつけている。状況により医療受診につなげている。                     |                         |                                            |
| 74 | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 服薬管理表を作成し、職員が内容を把握出来るようにしている。服薬時はきちんと服薬できているのかの確認をしている。                                        |                         |                                            |
| 75 | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 適度な運動を取り入れ、飲水量を増やしたり、繊維質の多いものを食材に取り入れ、自然排便できるような取り組みを行っている。                                    |                         |                                            |

| 番号 | 項目                                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                            | ○印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| 76 | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                                                 | 毎食後の歯磨の声かけを行い、力に応じて職員が見守ったり、介助を行っている。就寝前は義歯の洗浄を行っている。                                                      |                     |                                  |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している。水分については、こまめなお茶の時間や、居室での飲水としてペットボトルに湯冷ましなどを入れて提供している。                      |                     |                                  |
| 78 | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)                                         | 感染症に関して取り決めを作り、早期発見、早期対応に努めている。又、入居者及び家族に同意いただき、職員共に、インフルエンザ予防接種を受けている。ノロウイルス対策としてペーパータオルを使用するなど予防も徹底している。 |                     |                                  |
| 79 | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている                                        | まな板やフキン等は、毎晩漂白し清潔を心掛けている。冷蔵庫も点検・掃除し、食材の残りは鮮度や状態を確認し、冷凍したり処分したりしている。                                        |                     |                                  |
|    | 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1) 居心地のよい環境づくり                                                                |                                                                                                            |                     |                                  |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 明るい雰囲気のある玄関になるように花をいけたり、玄関先にベンチやプランターなどを置いている。                                                             |                     |                                  |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 茶碗を洗う音、御飯のたける匂い、心地よい音楽、季節に合わせて料理など、五感や季節感を取り入れる工夫をしている。                                                    |                     |                                  |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | ソファのコーナー、和室、テーブルとイスの場所など、それぞれ居場所があり、入居者は思い思いの場所で居心地よく過ごされている。                                              |                     |                                  |
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 写真や使い慣れた日用品が部屋に持ち込まれ、入居者の居心地のよさに配慮している。                                                                    |                     |                                  |

| 番号 | 項目                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | ○印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| 84 | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 外気との温度差があるときは、温度計と入居者の様子を見ながら調整し、トイレは換気扇と消臭剤で悪臭が出ないようにしている。                                      |                     |                                  |
|    | (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり                                                          |                                                                                                  |                     |                                  |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している          | 入居者の状態に合わせて、手摺や浴室、トイレ、廊下などの居住環境を工夫している。                                                          |                     |                                  |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                    | 入居者が好む居場所のイスや物を職員がむやみに移動させない。居室のドアの模様を替えている。状態が変わり、新たに混乱や失敗が生じたが愛は、職員で話し合い、本人の不安材料を取り除くように努めている。 |                     |                                  |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                            | 玄関先にベンチを置き、入居者が涼んだり日向ぼっこ出来るようにし、中庭も車椅子の方が出られるように工夫している。                                          |                     |                                  |

| 番号                     | 項目                                | 取り組みの成果<br>(該当する箇所に○印をつける)                                              |
|------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <b>v サービスの成果に関する項目</b> |                                   |                                                                         |
| 88                     | ○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる      | 《 》①ほぼ全ての利用者の<br>《 ○ 》②利用者の2/3くらいの<br>《 》③利用者の1/3くらいの<br>《 》④ほとんど掴んでいない |
| 90                     | ○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある         | 《 ○ 》①毎日ある<br>《 》②数日に1回程度ある<br>《 》③たまにある<br>《 》④ほとんどない                  |
| 91                     | ○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている            | 《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が<br>《 》②利用者の2/3くらいが<br>《 》③利用者の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどいない    |
| 92                     | ○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | 《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が<br>《 》②利用者の2/3くらいが<br>《 》③利用者の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどいない    |
| 93                     | ○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている           | 《 》①ほぼ全ての利用者が<br>《 》②利用者の2/3くらいが<br>《 ○ 》③利用者の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどいない    |
| 94                     | ○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている     | 《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が<br>《 》②利用者の2/3くらいが<br>《 》③利用者の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどいない    |

| 番号  | 項 目                                                      | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                       |
|-----|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 96  | ○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている                   | 《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が<br>《 》②利用者の2/3くらいが<br>《 》③利用者の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどいない    |
| 95  | ○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています        | 《 ○ 》①ほぼ全ての家族と<br>《 》②家族の2/3くらいと<br>《 》③家族の1/3くらいと<br>《 》④ほとんどできていない    |
| 96  | ○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている                        | 《 》①ほぼ毎日のように<br>《 》②数日に1回程度<br>《 ○ 》③たまに<br>《 》④ほとんどない                  |
| 97  | ○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 《 》①大いに増えている<br>《 ○ 》②少しずつ増えている<br>《 》③あまり増えていない<br>《 》④全くない            |
| 98  | ○職員は、生き活きと働いている                                          | 《 ○ 》①ほぼ全ての職員が<br>《 》②職員の2/3くらいが<br>《 》③職員の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどいない       |
| 99  | ○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | 《 》①ほぼ全ての利用者が<br>《 ○ 》②利用者の2/3くらいが<br>《 》③利用者の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどいない    |
| 100 | ○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | 《 ○ 》①ほぼ全ての家族等が<br>《 》②家族等の2/3くらいが<br>《 》③家族等の1/3くらいが<br>《 》④ほとんどできていない |